　令和5年１１月２１日・２２日の２日間にわたり、「令和5年度 第９２回全国民生委員児童委員大会」が広島県広島市で開催されました。

本県からは本会役員・本会職員・埼玉県社会福祉協議会職員の総勢１６名が、広島市民児協への視察研修も含めた２泊３日の行程にて参加いたしました。

大会の様子を写真中心でお伝えするとともに、次ページでは広島市民児協への視察研修の結果をご報告いたします。

**令和５年度　第92回　全国民生委員児童委員大会**







|  |  |
| --- | --- |
|  | テーマ |
| 活動交流集会① | 高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり |
| 活動交流集会② | 障がい者が生活しやすい地域づくり |
| 活動交流集会③ | 子育て・子育ちを応援する地域づくり |
| 活動交流集会④ | 生活困窮世帯への支援と民生委員・児童委員活動 |
| 活動交流集会⑤ | 住民同士で支え合う地域共生社会の実現に向けた  民生委員・児童委員活動 |
| 活動交流集会⑥ | 民生委員・児童委員の活動環境整備 |
| 活動交流集会⑦ | 民生委員・児童委員活動を支える民児協機能の強化 |
| シンポジウム① | 災害に備える地域ぐるみの体制づくりに向けて |
| シンポジウム② | 新たなこども政策とこれからの民生委員・児童委員活動 |



地元の山陽高校和太鼓部“”の壮大なパフォーマンスで式典が開幕しました。和太鼓の舞台表現の可能性を追及する10代の若者たちの躍動に、会場は大きな盛り上がりを見せました。

式典終盤、令和6年度の開催地が宮崎県となることが承認されました。宮崎県の委員が「お待ちしております！」と笑顔であいさつし式典は終了しました。

全国民生委員児童委員連合会会長による各種表彰の授賞式が行われ、得能会長より代表受領者に表彰状と記念品が送られました。本県からは2地区民児協と57名の委員が受賞されました。

会場入口では、広島の「H」をあしらったTシャツと、もみじのベレー帽をかぶった広島県版ミンジ―がお出迎え。東京で生まれたミンジ―は、ご当地ミンジ―として全国15府県市で活躍しています。

47都道府県と20指定都市の民児協からの参加者が式典会場の広島市グリーンアリーナで一堂に会しました。他の都道府県・指定都市の委員と交流を図る数少ない機会ということもあり、挨拶を交わす姿も多く見られました。

※各活動交流集会・シンポジウムの資料については各市町村事務局までお問い合わせください。

大会の開催前に原爆ドーム・平和記念資料館等を視察しました。被爆資料や遺品を見学し、核兵器の恐ろしさと平和の重要性を再確認しました。